

平成 24 年度第 1 回日進市予防接種健康被害調査委員会会議録

日時 : 平成 24 年 7 月 12 日 木曜日 午後 2 時から午後 2 時 55 分まで

場所 : 日進市保健センター 2 階会議室

出席者 : 川井委員 (医師)、山田委員 (日進市教育委員会)、中島委員 (医師)、坂野委員 (日進市保健センター診療管理者)、伊藤委員 (瀬戸保健所長) (順不同)

来賓 : 副市長

欠席者 : 2 名

事務局 : 市民生活部担当部長、健康課長、他 4 名

傍聴の可否 : 可

傍聴の有無 : 無

議事

事務局 ただいまから、平成 24 年度第 1 回日進市予防接種健康被害調査委員会を開催いたします。ここで、委嘱書を一人ずつ交付すべきところですが、机の上に配布し、交付に代えさせていただきますことをご了承願います。任期は平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの 1 年間となっております。なお、今回委嘱させていただく調査委員会の委員は、本日お手元の委員名簿のとおりでございますのでよろしくお願いいたします。

副市長 あいさつ

事務局 最初の委員会ということで委員長・副委員長が決まっておきませんので、議題 (1) につきましては事務局の方で進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

議題 (1) 平成 24 年度日進市予防接種健康被害調査委員会の委員長、副委員長の選出につきまして議題といたします。委員長・副委員長の選出につきましては、日進市予防接種健康被害調査委員会設置条例第 3 条第 2 項の規定にて委員の互選により選出することになっております。委員長、副委員長の選出につきまして委員の皆様のご発言をお願いいたします。

委員 事務局に一任いたします。

事務局 ただいま委員から事務局に一任とのご発言がありましたが、前年に引き続き委員長には保健センター診療管理者であります坂野委員、副委員長には医師の中島委員をお願いしてはと考えておりますがよろしいでしょうか。

委員 (了承)

事務局 それでは委員長に坂野委員、副委員長に中島委員ということでよろしくお願いいたします。

委員長 あいさつ

事務局 それでは議題 (2) からは議事の進行を委員長にお願いいたします。

委員長 議題（２）の平成23年度予防接種実績について、事務局から説明をしてください。

事務局 資料No.1-1、1-2により事業名と接種数（率）の説明。資料No.1-3により接種注意者の対応について説明。

委員 子宮頸がん予防ワクチンの２種類、サーバリックスとガーダシルについて接種割合はどれほどでしたか。

事務局 平成23年度全体ではサーバリックスが88.2%、ガーダシルが11.8%となっております。

委員 ガーダシルが導入された9月以降の比較はできますか。

事務局 ガーダシルが導入された9月は同割合でしたが、10月以降ではサーバリックス1に対してガーダシルが2くらいの割合となっております。

委員 過剰接種や接種期間の不足などによる予防接種事故の発生状況について、昨年度は県全体で121件の報告がありました。予防接種は種類、回数が増えて事故が発生しやすい状況になっています。母子手帳などの確認が出来なかったなど理由があると存じますが、確認をお願いしていただき事故の発生を未然に防いでいただきますようお願いいたします。

委員長 他に意見、質問はありますか。

委員 はしか、風しんの第3期と第4期の予防接種については昨年度接種率を引き上げいただいております。今年度で最後となりますので学校等通じて等の周知を引き続きお願いいたします。また、豊田で散発的にはしかが発生しました。ほとんどの発症者が予防接種の未接種者とのことでしたので引き続き周知をお願いいたします。

事務局 はしか、風しんの第1期、第2期に関しては保健センターから周知を行っているところでございますが、学齢期に入ります第3期、第4期については周知が難しいため、個人通知の他、学校を通じて長期休暇の前に周知を行っております。昨年度からは学校教育課を通じて各中学校の養護教諭に対して勸奨協力をお願いなどしております。

委員長 高校生など市外通学者に対してはどのように周知していますか。

事務局 市外登校・通学者に対しては個人通知を行っております。

委員 周知の対象は未接種者になるのでしょうか

事務局 学校を通じての周知は接種未接種問わず全員に対して行っております。個人通知に関しては未接種者を抽出して周知しております。

委員 ヒブと小児用肺炎球菌の接種率に関しては、出生数で割り出した県の数値と異なるようですが。

事務局 資料では出生数ではなく、全対象者で割り出しております。出生数で割り出しますと 100%を超えることになり、参考に最近の 2 から 7 ヶ月児の接種率を一定期間で区切って集計したところ、概ね 9 割を超えているとの状況となっております。対象者数の取り方が統一されていないため接種率が異なることになっておりますが、現状としては日進市では 7 ヶ月齢までに 90%以上接種を行っていると思われま。

委員長 議題 (3) の平成 24 年度予防接種実施計画について、事務局から説明をしてください。

事務局 資料No2 に沿って平成 23 年度以降の変更点について説明。

委員 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業についてですが制度の変更の見込みはどのようなものでしょうか。

事務局 時期については未定です。制度について平成 19 年 10 月から開始いたしました、2 回目の接種可能となる 5 年経過後が平成 24 年 10 月以降となりますのでそのあたりを目処に実施方法等検討しております。

委員長 BCG 接種については接種対象となる期間が短く、接種を逃す人などありませんか。

事務局 BCG は言われるとおりで、他にも子どもですので病気などにより接種期間を超えてしまう場合があります。その場合は病気などの接種できない理由が無くなり次第、接種できるように行っております。他の場合等もありますのでその際には市に相談いただき、できるだけ接種できるよう対応しております。

委員 コッホ現象が陽性で結核発症と確認された事例はどのくらいありますか。

委員 詳しい資料は手元にはございませんがコッホ現象自体、県で数件と思われま。

委員 コッホ現象の判定は難しいと思われま。

委員 先ほどの説明にある、ツベルクリン反応を見るなどして判定をすることになると思われま。

委員長 意見・質問はありますか。

今度 4 種混合ワクチンも導入されるとのことですが、より混合数の多いワクチンなどは導入されるのですか。

事務局 海外ではそのようなワクチンの導入が進んでいると聞いております。

委員 B 型肝炎などの任意予防接種のワクチンの接種数は把握してありますか。

事務局 市で事業を行っていない任意予防接種については把握しておりま。

- 委員 B型肝炎については昨年あたりから増えてきており、今年は供給不足になっていると聞いています。
- 委員長 市の職員についてのB型肝炎ワクチンの接種を聞きませんがどのようになっていますか。
- 事務局 以前は市の職員等で血液に触れるなど感染の可能性のある業務に携わる者を対象に、市が予防接種を行っていました。現在は各個人ごとに任意での接種となりました。
- 委員長 予防接種過誤（事故）が発生したときはどのように対応していますか。
- 委員 市に報告いただき、それぞれで個別に対応していただいております。
- 委員長 接種者や保護者にはどのように伝えるものですか。
- 事務局 基本的には各医療機関から接種者に直接説明いただき、経過を見て何事もなければ完了となります。場合によって市からの説明を行うなどのフォローを行っております。
- 委員長 議題（4）の予防接種健康被害発生時の対応について、事務局から説明をしてください。
- 事務局 資料No3-1、3-2、3-3、資料No4に沿って、定期と3任意ワクチンの予防接種の副反応報告の方法及びポリオワクチン接種後副反応疑い事例を説明。
- 委員長 ポリオワクチン接種後副反応疑い事例は骨折が原因であったということですね。他の症状も無く片方だけの片側麻痺の疑いで、骨折治癒後症状が見られないのであればワクチン由来とは考え難いという結論ですね。最終的な遺伝子レベルでの結論はワクチン由来のポリオが検出されるかどうかということですか。
- 委員 ワクチン由来のポリオが検出されたということです。ただし、ポリオ予防接種を受けていますので検出されるのは間違いではないとのことですか。
- 委員 保護者は今回について説明に納得されましたか。
- 事務局 納得いただいております。
- 委員長 他にはありませんか。それではこれで終了いたします。
- 事務局 本会議は、今後健康被害の発生がなければ今年度中の開催はありませんので、よろしくお願いたします。

(午後2時55分終了)